



2026年3月期 第2四半期 連結決算説明資料

2025年10月31日

東京証券取引所プライム市場
証券コード:6737

EIZO株式会社

注意事項

当資料には、当社または当社グループ会社の業績見通し、計画、方針、経営戦略、予定等、将来に関する記述が含まれています。これら将来に関する記述は、為替変動や需要変動、調達リスク、その他の既知・未知のリスクや不確定要素を含みますので、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が、実体的に異なる場合があります。

また、当社は法令に定めのある場合を除き、このような将来予測に基づく記載を更新する義務を負いません。

※資料内の会計期間の表記は“F”及び“Q”を用いております。2026年3月期中間期は“25F1”、第2四半期(3ヶ月)は“25Q2”、2026年3月期は“25F”となります。

市場区分一覧

市場区分	使用用途・場所
B&P (Business & Plus)	金融機関、公共機関、文教施設、CAD、商業施設、一般オフィス、ホームオフィス
ヘルスケア (HC)	診断・検査、治療・手術、医療IT
クリエイティブワーク (CW)	映像制作、3DCG、プロフォト、ハイアマチュアフォト、イラスト、デザイン、出版・印刷
V&S (Vertical & Specific)	社会インフラや産業機器で求められる多種多様な用途 航空管制、船舶、監視、ディフェンス、その他産業用途(タッチモニター含む)
アミューズメント (AMU)	パチンコ・パチスロ遊技機に搭載される液晶モニター
その他 (OTH)	保守サービス及びソフトウェアの受託開発

本資料に関するお問合せ 担当：IR室 有生(ありせ) TEL：076-275-4121

1. 2026年3月期第2四半期決算
2. 業績の見通し / 事業上のトピック
3. 参考資料

2026年3月期第2四半期 決算概要

欧州において厳しい経済環境が継続
販売費及び一般管理費の増加により営業減益

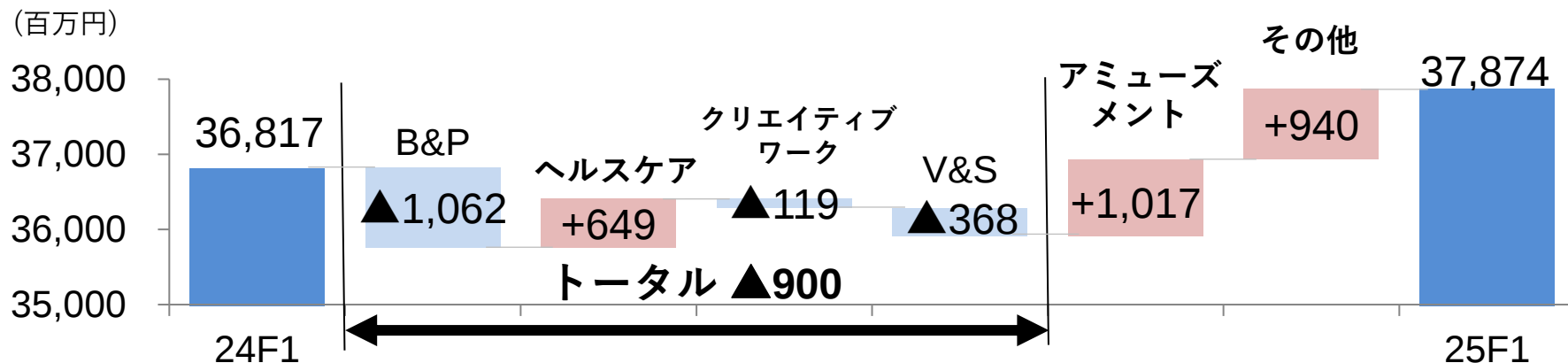
- 売上高：378.7億円(前年同期比 +10.5億円)
 - ヘルスケアやアミューズメント市場向けでは前年同期を上回る
 - 主要な地域である欧州での経済低迷により販売は低水準
- 営業利益：6.5億円(前年同期比 ▲1.7億円)
 - 販売費及び一般管理費増加：
賃上げの実施、新技術棟に係る費用計上、
インド・中東における販売活動の拡充等による
- 親会社株主に帰属する中間純利益：9.3億円(前年同期比 +2.2億円)
 - 為替差益 0.9億円を計上(前年同期は為替差損 3.8億円を計上)
- 例年下期に需要が偏る特性がある中、25F公表計画においても売上高及び利益は
下期に偏る計画

連結損益計算書

(百万円)

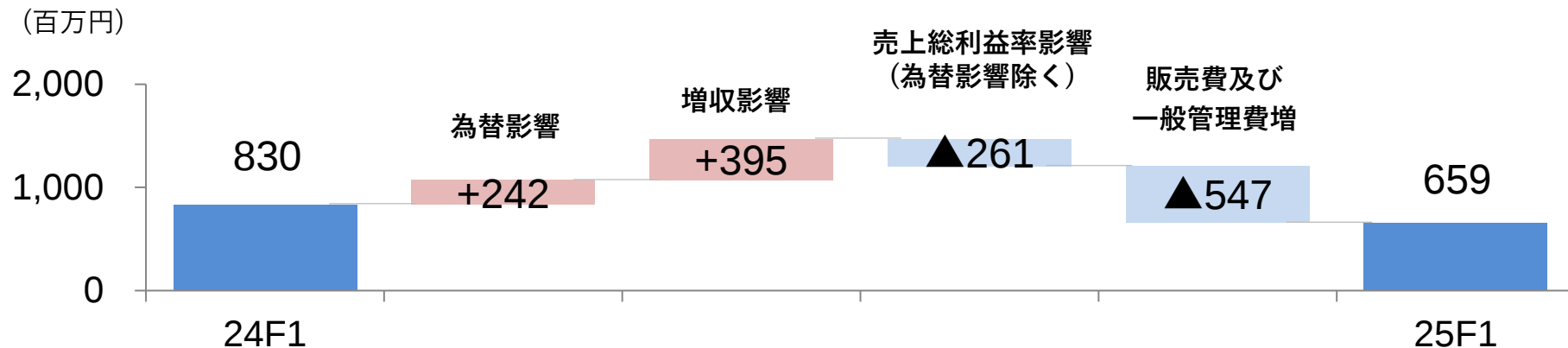
	24F1	25F1	前年同期比
売上高	36,817	37,874	102.9%
売上総利益	11,969	12,346	103.1%
売上総利益率	32.5%	32.6%	+0.1pt
販売費及び一般管理費	11,139	11,686	104.9%
営業利益	830	659	79.5%
営業利益率	2.3%	1.7%	▲0.5pt
経常利益	1,070	1,492	139.4%
親会社株主に帰属する 中間純利益	709	930	131.2%
為替レート（四半期平均）:USD	152.78円	146.02円	▲6.76円
為替レート（四半期平均）:EUR	166.07円	168.05円	+1.98円

売上高増減要因



- **B&P** : 欧州経済停滞により依然として低調
- **ヘルスケア** : 内視鏡用途向けは欧州・中国で在庫調整解消により増加。
診断用途向けは主要市場である欧州及び北米で前年同期を上回る
- **クリエイティブワーク** : 欧州経済停滞により販売は低調
- **V&S** : 航空管制用途向けは下期以降に複数の案件が本格化する見込みであり、
当中間期においては前年同期を下回る
- **アミューズメント** : 主力機種の販売があり前年同期を上回る
- **その他** : アミューズメント用ソフトウェア受託開発等の売上高が増加

営業利益増減要因



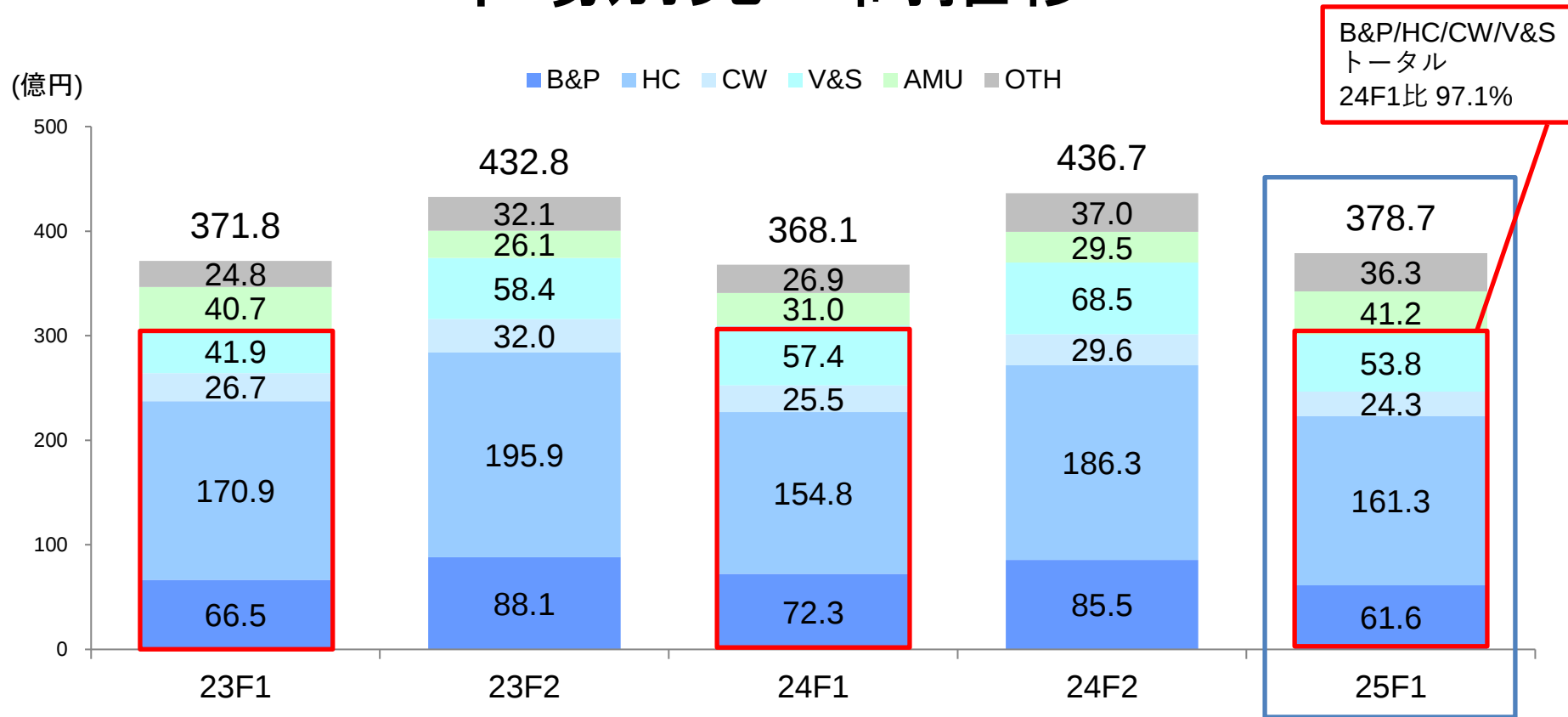
□ 為替影響：

対ドルで円高に推移したことによる

□ 販売費及び一般管理費の増加：

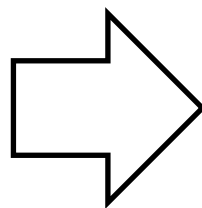
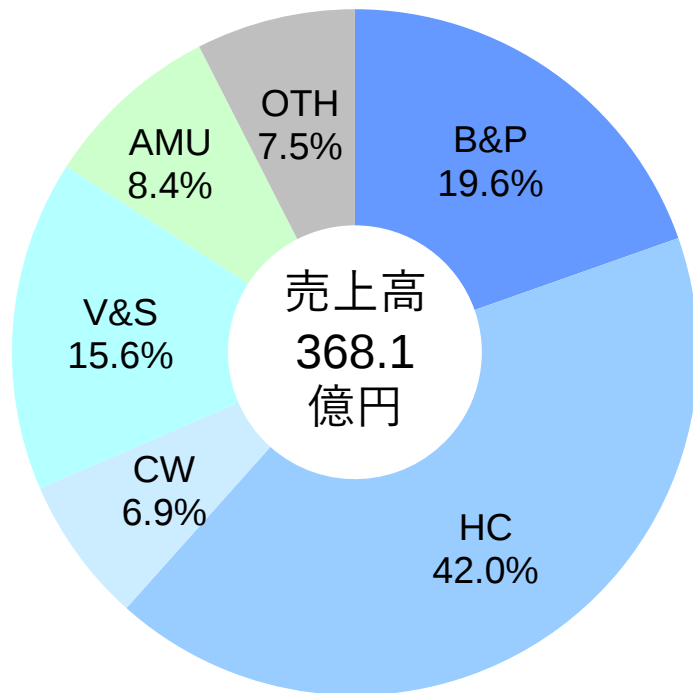
賃上げの実施、新技術棟に係る費用の計上、
インド・中東における販売活動の拡充等による

市場別売上高推移

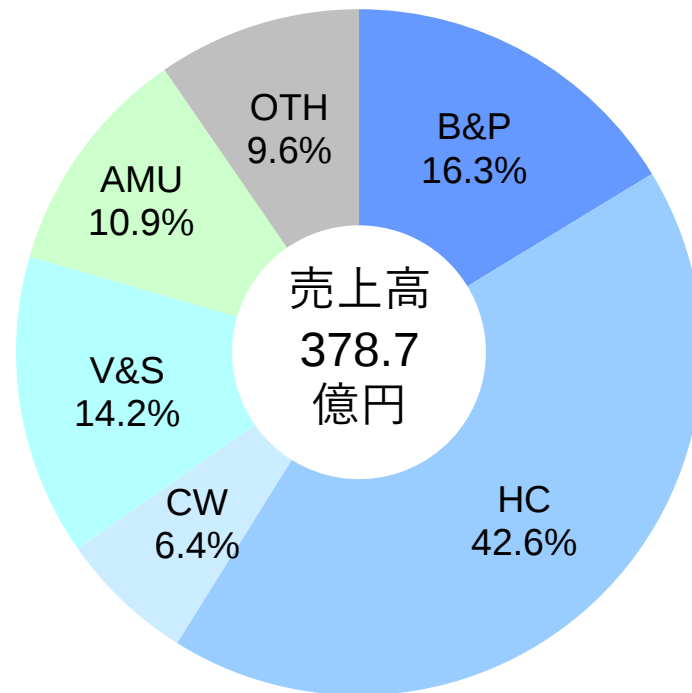


市場別売上高構成比

24F1



25F1

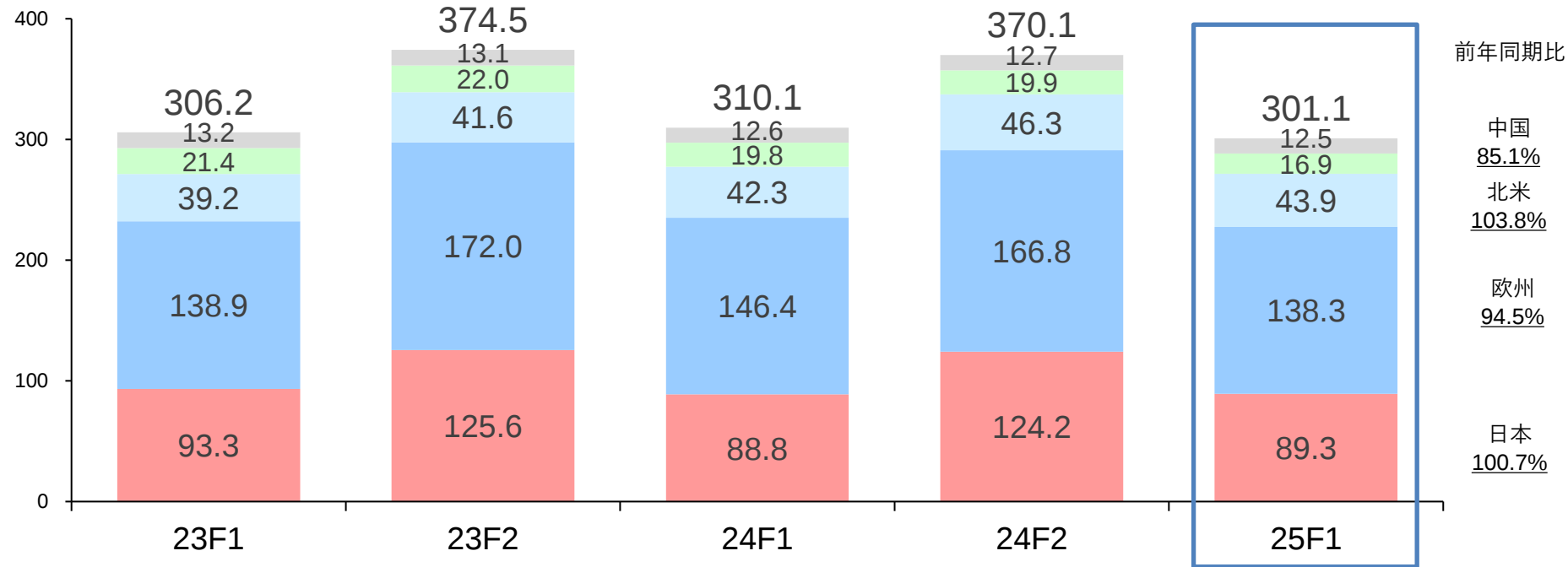


B&P/ヘルスケア/クリエイティブワーク/V&S

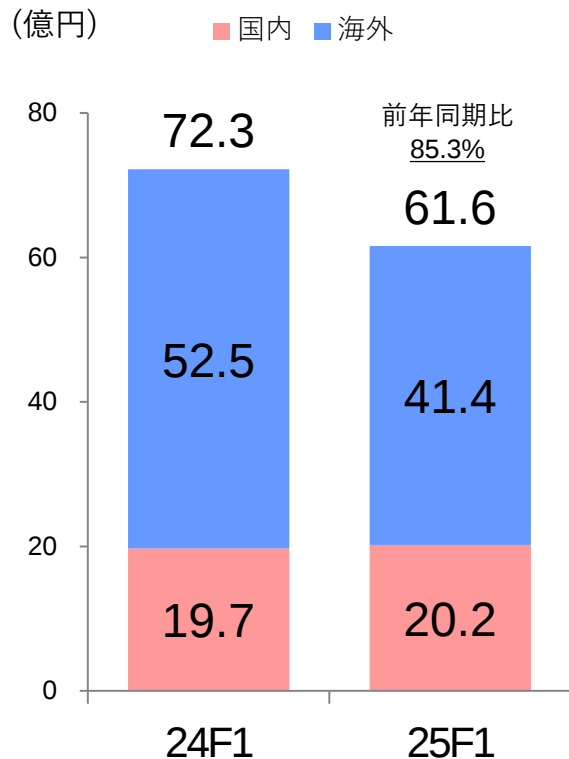
地域別売上高推移

(億円)

■ 日本 ■ 欧州 ■ 北米 ■ 中国 ■ その他



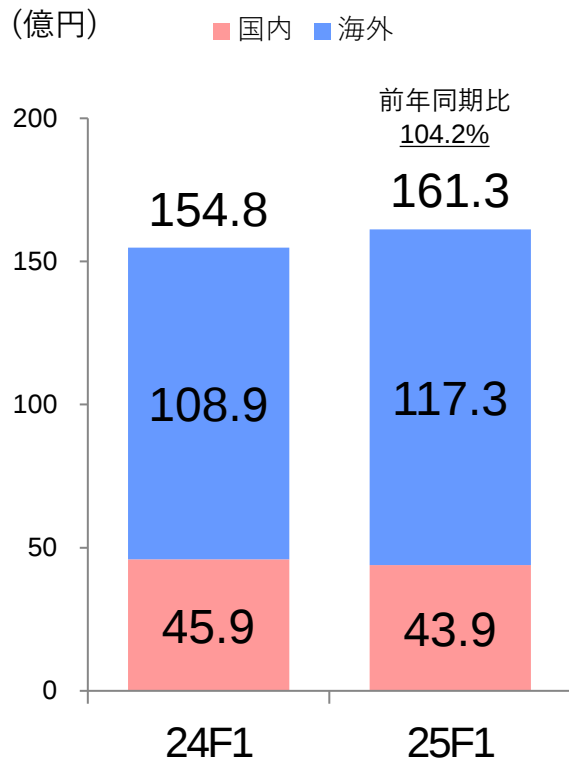
市場別売上高：B&P (Business & Plus)



- 主要市場である欧州において厳しい経済環境下、WindowsのOSサポート終了に伴うPC買い替え需要はモニターへの投資にはつながらず、販売は低水準
- 日本では前年同期並みの販売
- 環境先進性や市場競争力を高めた新製品を販売開始し下期以降の販売回復を図る



市場別売上高：ヘルスケア



診断用途

- 主要市場である欧州及び北米での販売が前年同期を上回る

手術室用途

- 日本において年度見通しでは受注は堅調なものの、大型案件販売のあった前年同期を下回る

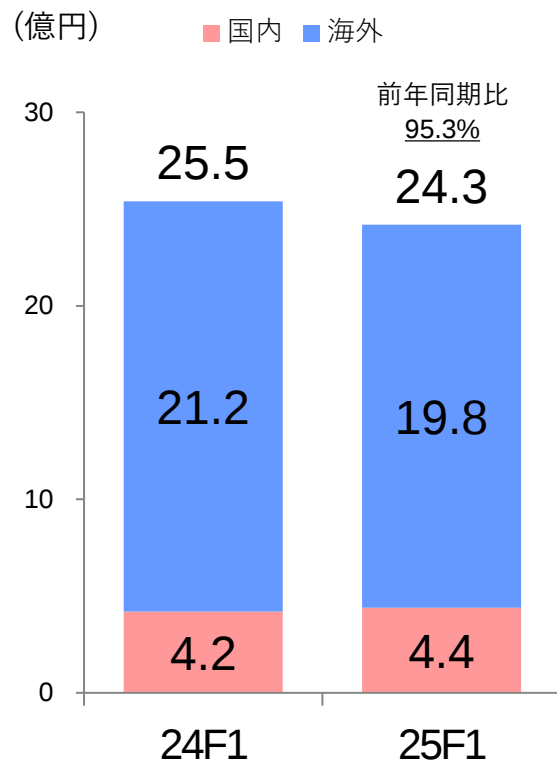
内視鏡用途

- 前年同期にあった欧州及び中国での市場での在庫調整の解消に伴い、前年同期を上回る



RadiForce® RX570

市場別売上高：クリエイティブワーク



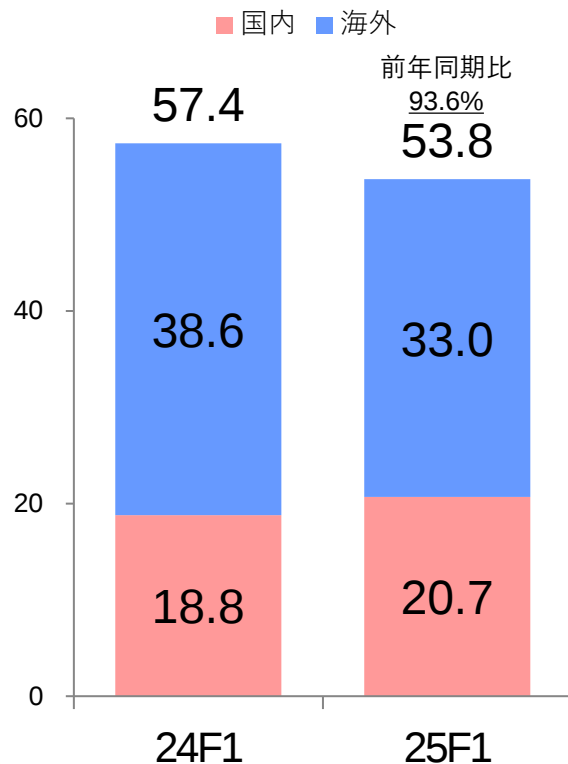
- 欧州における景気低迷により販売は低調。北米及び日本では映像制作用途向けの販売が前年同期を上回る
- 映像制作向けHDR対応リファレンスモニターやHDR対応カラーマネージメントモニターの新機種を販売開始し、下期以降の販売増に向けたプロモーションを実施中



ColorEdge®CG2400SV

市場別売上高：V&S (Vertical & Specific)

(億円)



航空管制

□ 下期以降に複数の案件が本格化する見込みであり、当中間期においては前年同期を下回る

船舶

□ 新規造船需要があり好調

セキュリティ・監視

□ 海外で販売が減少

ディフェンス

□ 北米でモニターのクロスセル販売が増加

その他

□ 日本で各種産業用途向けの販売が前年同期を下回る

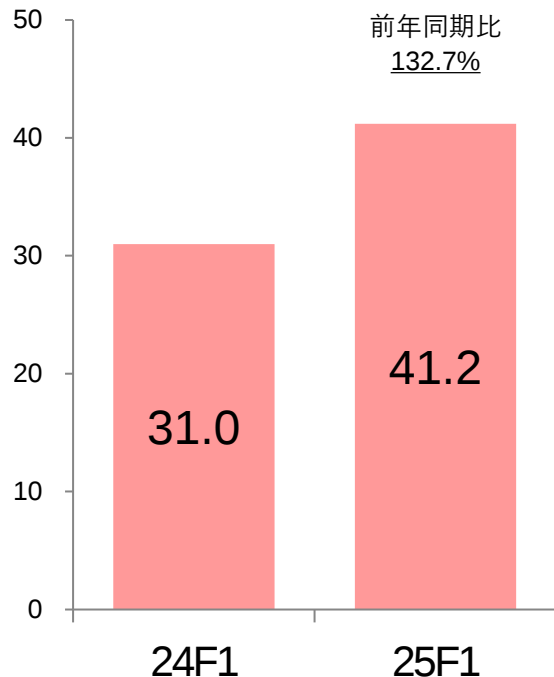


DuraVision® FDF1683WT/FDF1683WT-AS

市場別売上高：アミューズメント

(億円)

- 主力機種の販売があり前年同期を上回る
- 遊技人口の減少と店舗数の減少等による業界全体の規模縮小が進み、厳しい市場環境が継続



©SANYO BUSSAN CO.,LTD.

連結貸借対照表

(百万円)

	25年3月末	25年9月末	増減
流動資産	80,709	77,330	▲3,378
現預金	21,058	15,887	▲5,170
売掛金等 ※	21,273	19,901	▲1,372
棚卸資産	36,664	39,731	+3,066
有形固定資産	24,382	26,904	+2,521
無形固定資産	1,024	1,096	+72
投資その他の資産	51,643	63,317	+11,674
資産合計	157,759	168,648	+10,889
流動負債	18,743	18,699	▲44
短期借入金	4,862	5,234	+371
固定負債	14,659	18,152	+3,492
純資産	124,355	131,796	+7,440
負債純資産合計	157,759	168,648	+10,889

棚卸資産

原材料在庫が増加

建物及び構築物

新技術棟の建設による
(2025年4月竣工)

保有株式の時価上昇により、
投資有価証券/繰延税金負債/
その他有価証券評価差額金が増加

※受取手形、売掛金、契約資産及び電子記録債権

研究開発費 / 設備投資 & 減価償却費

(億円)

	24F1	25F1	前年同期比
研究開発費 ※製造費用計上分を含む	33.4	33.5	100.3%
売上高研究開発費率	9.1%	8.9%	▲0.2pt.
設備投資	30.9	37.5	121.5%
減価償却費	13.5	16.4	120.9%

研究開発費

EVS事業の研究開発を強化

設備投資

将来成長のための投資

- 新技術棟：28.9億円
※2025年4月竣工
(総投資金額 約51億円)

1. 2026年3月期第2四半期決算

2. 業績の見通し / 事業上のトピック

3. 参考資料

2026年3月期 業績の見通し

(百万円)

	24F	25F計画	前期比
売上高	80,493	85,000	105.6%
売上総利益	26,199	28,400	108.4%
売上総利益率	32.5%	33.4%	+0.9pt
販売費及び一般管理費	22,493	23,600	104.9%
営業利益	3,706	4,800	129.5%
営業利益率	4.6%	5.6%	+1.0pt
経常利益	4,555	6,100	133.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,148	4,400	106.1%
為替レート（年平均）:USD	152.62円	143.00円	▲9.62円
為替レート（年平均）:EUR	163.88円	157.00円	▲6.88円
ROA	2.8%	-	-
ROE	3.3%	-	-

2025年5月8日公表値より変更なし

- 当社事業は下期に需要が偏る特性ある中、25Fも売上高及び利益は下期に偏る計画
- 特に付加価値の高い国内ヘルスケア市場及び海外V&S市場向けは年度末に案件が集中する見通し
- 固定費管理を徹底

連結営業利益への為替感応度(1円円安による影響額)

- USD：▲90百万円
- EUR：+130百万円

市場別売上高予想

(百万円)

	24F	構成比(%)	25F計画	構成比(%)	前期比(%)
B&P (Business & Plus)	15,785	19.6	16,700	19.6	105.8
ヘルスケア	34,117	42.4	35,200	41.4	103.2
クリエイティブワーク	5,523	6.9	5,900	6.9	106.8
V&S (Vertical & Specific)	12,608	15.7	13,800	16.2	109.4
アミューズメント	6,058	7.5	6,800	8.0	112.2
その他	6,399	7.9	6,600	7.9	103.1
合計	80,493	100.0	85,000	100.0	105.6

トピック①

監視や遠隔操作向けに、ストリーミングゲートウェイボックス「DuraVision SGX0031」発売

産業分野のDX加速により取り扱うデータの数や量が増加し、複雑化。監視や遠隔操作のように映像をリアルタイムに確認する必要がある分野において、映像の乱れや遅延が課題に

→「DuraVision SGX0031」は効率の良い通信規格で映像を配信し、安定化

■ 「マージモード」搭載

最大32本の映像ストリームを結合でき、RTSP/SRTプロトコルで効率的に再配信。低遅延化により、ほぼリアルタイムで表示

■ 映像ストリームの受信、配信、表示を全てEIZO製品で構成でき互換性も安心

既設のIPカメラ環境の一例



トピック②

導入事例：

ダイワボウ情報システム(株)では EIZOのウルトラワイドモニターで快適なオフィス環境を実現

東京本社の移転に際して、「働きたくなるオフィスづくり」のために
EIZOの「FlexScan EV3450XC」を標準モニターとして採用

導入の決め手

- EIZOならではの画質の鮮明さ、
操作の快適性
- Webカメラ内蔵でWeb会議が容易
- EIZO製品の優れた環境性能が
サステナビリティへの取組みに合致
- 筐体からケーブルまで白で統一でき
新オフィスの統一感と明るさに貢献



FlexScan EV3450XC

トピック③

EIZOの集合梱包が世界最大級の国際梱包コンテストで受賞 WORLDSTAR 2025 AWARD 「PACKAGING EXCELLENCE」

世界包装機構(WPO)主催の革新的かつ持続可能なパッケージングを評価する
国際的なコンテストで、世界50ヵ国、550点以上の作品から選出
→梱包容積の削減による輸送効率の大幅な向上が高く評価

EIZOの集合梱包

- FlexScan EVシリーズの対象機種で、複数台をアーム取付けや壁掛けで導入する法人顧客向けに、モニター部を4台で1箱に梱包
- 梱包材の削減、積載効率向上、開梱・取付け時間短縮、廃棄物削減を実現
→24型で17%、27型で42%容積削減



モニター4台分の単体梱包



4台分のモニター部を
1箱に梱包する集合梱包



トピック④

EcoVadis(*)のサステナビリティ調査で最高位「プラチナ」獲得

「プラチナ」評価は評価対象企業の上位1%

4分野への企業の方針、取組み、
実績などを評価

- 環境
- 労働と人権
- 倫理
- 持続可能な資材調達



(*)2007年に設立されたフランスのサステナビリティ評価機関で、世界185ヵ国、15万社以上の企業・団体のESGパフォーマンスを評価し、サプライチェーン全体のサステナビリティ情報を一元管理するプラットフォームをグローバルに提供している

株主還元

- 自己株式取得に係る事項を決議（2025年10月31日）
- 株主還元と資本効率の向上を図るため、180万株（発行済株式総数（自己株式除く）の4.37%）を上限に自己株式を取得予定
- 将来の株式の希薄化懸念を払拭するため、今回取得する自己株式はすべて消却を予定

自己株式取得の概要

- 取得期間： 2025年11月10日～2026年3月9日
- 取得しうる株式数：180万株（上限とする）
発行済株式総数（自己株式除く）の4.37%
- 取得価額の総額： 40億円（上限とする）

株主還元

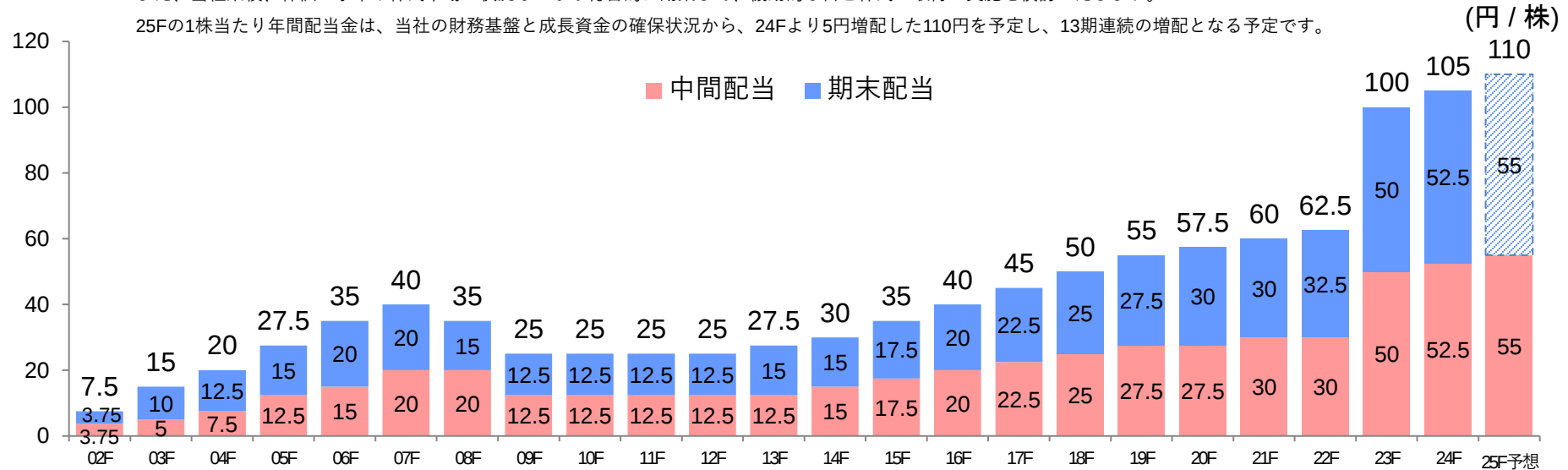
●株主還元方針

当社は、予測困難な世界情勢と不確実な事業環境の中、中長期的な成長を支える研究開発は積極的に継続し事業拡大と業績向上を通じて持続的成長を図るとともに、財務の健全性を維持しながら、株主還元を行うことを経営の重要課題と位置付けております。

株主への還元率（総還元性向）の目標水準を連結当期純利益の70%+αとしております。長期的な株主価値の向上に資するため、当社の財務基盤と成長資金の確保状況を鑑み、1株当たり年間配当金は105円（24F）を下限といたします。

また、当社業績、株価の水準や株式市場の状況などから総合的に勘案して、機動的な自己株式の取得の実施を検討いたします。

25Fの1株当たり年間配当金は、当社の財務基盤と成長資金の確保状況から、24Fより5円増配した110円を予定し、13期連続の増配となる予定です。



配当性向	11.3%	9.5%	14.4%	17.5%	20.6%	41.0%	229.7%	22.6%	31.5%	67.5%	66.7%	21.6%	38.5%	35.5%	30.1%	26.9%	49.5%	50.2%	39.8%	32.8%	44.5%	75.4%	104.2%	102.9%
還元率	11.3%	9.5%	14.4%	17.5%	20.6%	41.0%	375.2%	22.6%	31.5%	168.0%	66.7%	21.6%	38.5%	35.5%	30.1%	26.9%	49.5%	50.2%	39.8%	32.8%	92.2%	75.4%	104.2%	193.8%

※25F予想の還元率(総還元性向)には自己株式取得見込上限金額40億円を含みます

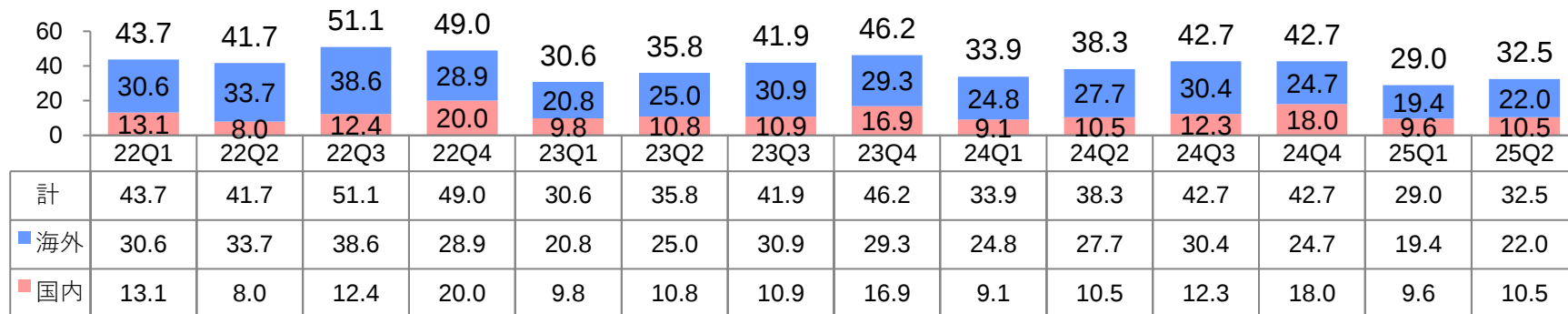
1. 2026年3月期第2四半期決算
2. 業績の見通し / 事業上のトピック
3. 参考資料

市場別売上高推移 B&P / ヘルスケア

(億円)

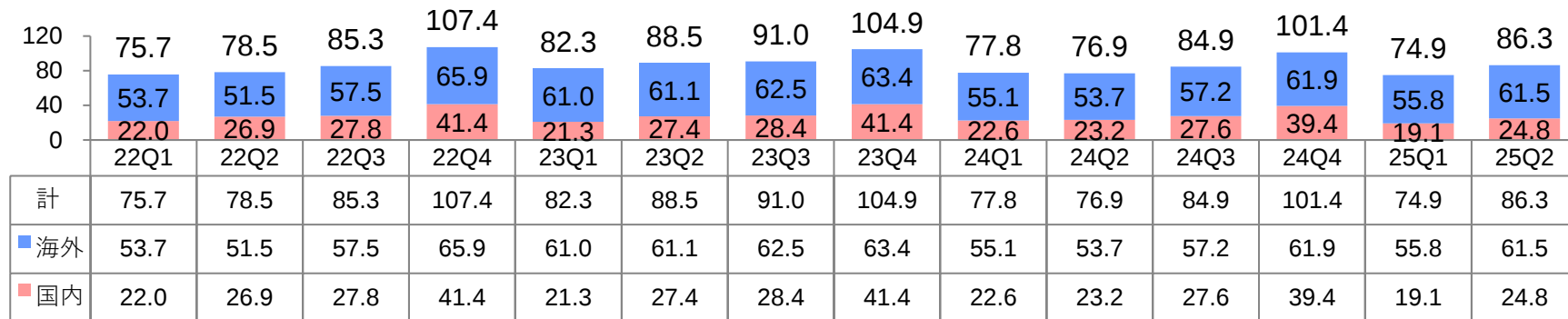
B&P

■ 国内 ■ 海外



ヘルスケア

■ 国内 ■ 海外

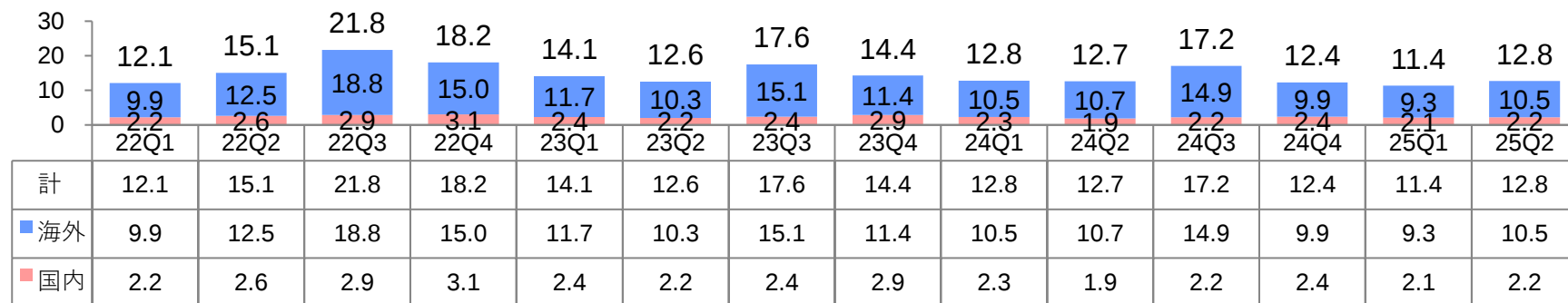


市場別売上高推移 クリエイティブワーク / V&S

(億円)

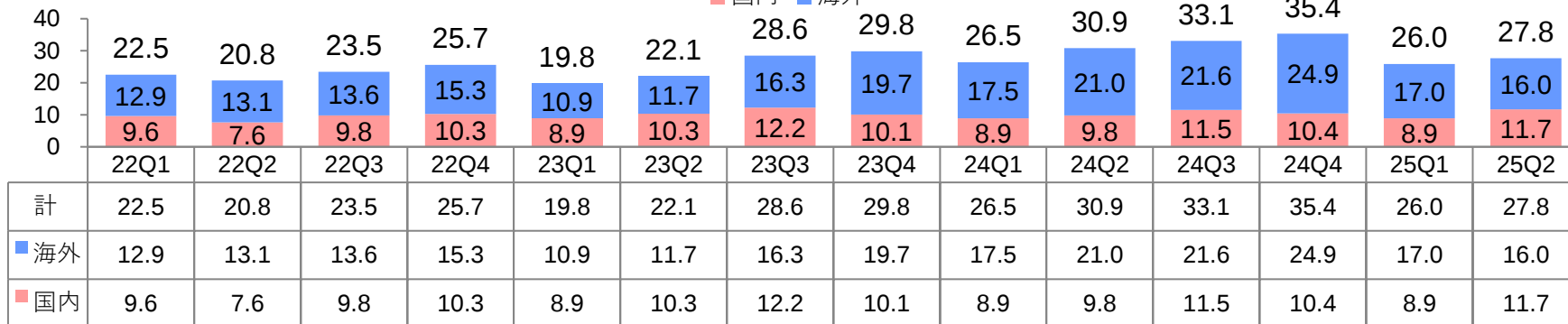
クリエイティブワーク

■ 国内 ■ 海外



V&S

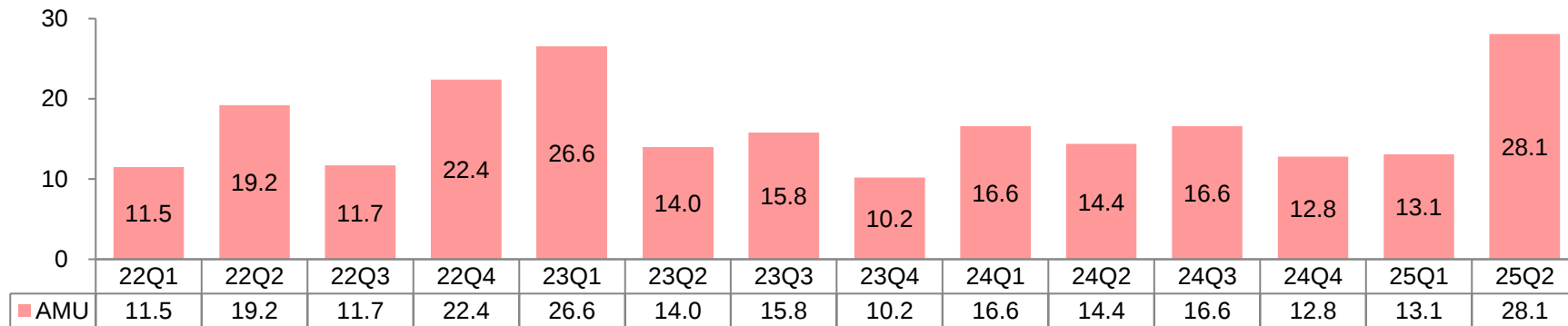
■ 国内 ■ 海外



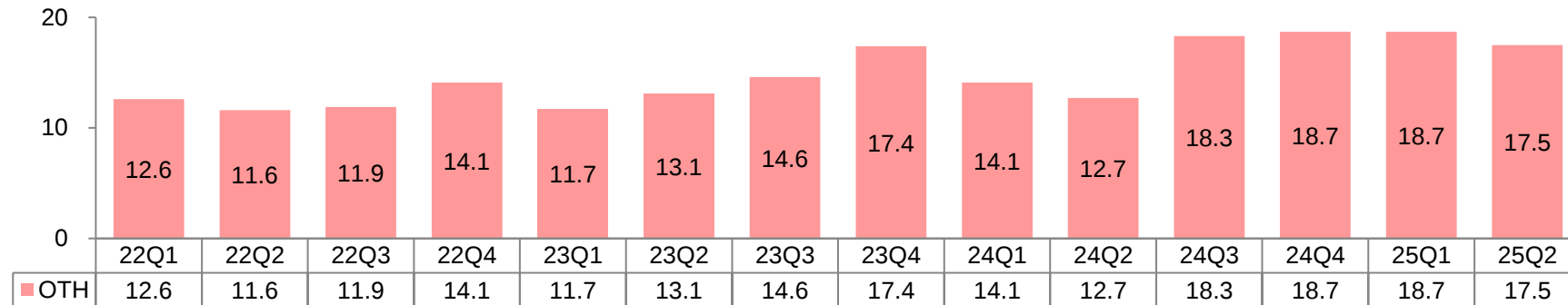
市場別売上高推移 アミューズメント / その他

(億円)

アミューズメント



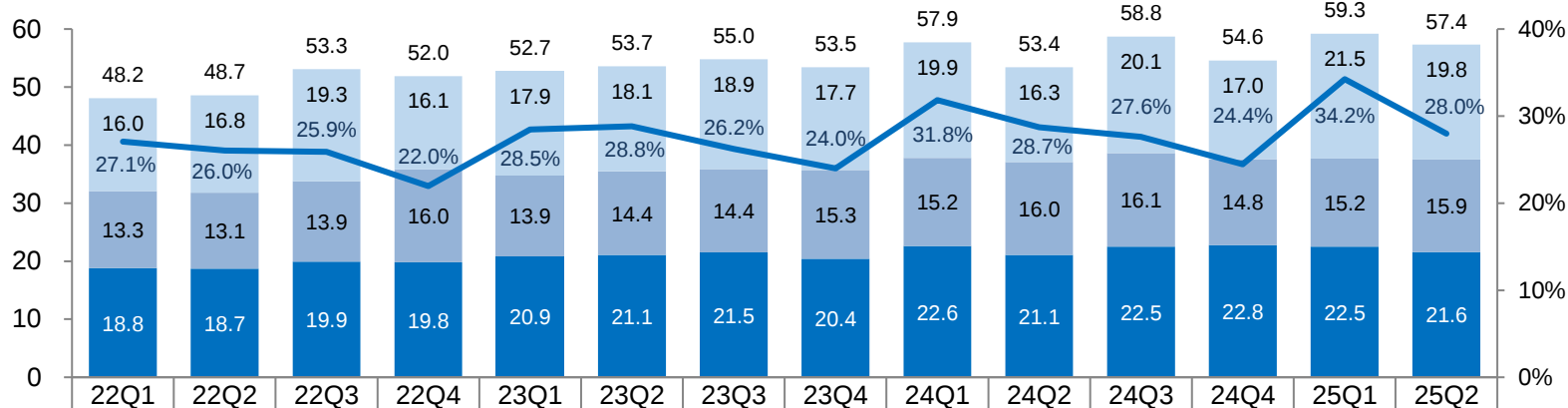
その他



販売費及び一般管理費推移

(億円)

■ 人件費 ■ 研究開発費 ■ その他 — 売上高販管費率



	22Q1	22Q2	22Q3	22Q4	23Q1	23Q2	23Q3	23Q4	24Q1	24Q2	24Q3	24Q4	25Q1	25Q2
計	48.2	48.7	53.3	52.0	52.7	53.7	55.0	53.5	57.9	53.4	58.8	54.6	59.3	57.4
その他	16.0	16.8	19.3	16.1	17.9	18.1	18.9	17.7	19.9	16.3	20.1	17.0	21.5	19.8
研究開発費	13.3	13.1	13.9	16.0	13.9	14.4	14.4	15.3	15.2	16.0	16.1	14.8	15.2	15.9
人件費	18.8	18.7	19.9	19.8	20.9	21.1	21.5	20.4	22.6	21.1	22.5	22.8	22.5	21.6
売上高販管費率	27.1%	26.0%	25.9%	22.0%	28.5%	28.8%	26.2%	24.0%	31.8%	28.7%	27.6%	24.4%	34.2%	28.0%



Visit us online
www.eizo.co.jp